（別紙様式4）
【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和3年10月1日※1
（前回公表年月日：令和2年10月1日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
大村美容ファッション専門学校	平成4年3月31日	斉藤　ちづる	〒810-0055 福岡県福岡市中央区黒門2－6 （電話）092-733-1766
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人大村文化学園	平成4年3月31日	理事長 大村　陽之介	〒810-0055 福岡県福岡市中央区黒門2－6 （電話）092-733-1766

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
衛生	メイクアップ専門課程	メイクアップ科（ビューティーアドバイザーコース）	平成28年文部科学省認定	－

学科の目的	モデルを美しくするメイクアップから、ショーメイク、ビューティー最前線で活躍する為に必要なヘアアレンジ、色彩などを幅広く学び、メイク業界の次世代を担う人材を育成する
認定年月日	平成29年2月28日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	1800	480	0	0	0	1320
							時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
100人の内数	85人	0人	5人の内数	6人の内数	11人の内数

学期制度
■前期：4月1日～9月30日
■後期：10月1日～3月31日

成績評価
■成績表：　有
■成績評価の基準・方法
各学期末におこなう試験、実習の成果、履修状況などを総合的に勘案

長期休み
■学年始：4月1日
■夏　季：8月1日～8月31日
■冬　季：12月20日～1月11日
■春　季：3月13日～4月11日

卒業・進級条件
必要な時間数を履修している
教科課目の3分の2以上出席
学期末試験において、すべての科目が60点以上

学修支援等
■クラス担任制：　有
■個別相談・指導等の対応
本人・保護者と面談等をおこなって対処

課外活動
■課外活動の種類
町内行事への参加、学生自治組織、清掃ボランティア
■サークル活動：　無

就職等の状況※2
■主な就職先、業界等（令和元年度卒業生）
アルビオン、イプサ、資生堂
■就職指導内容
就職ホームルームによる担任からの指導
就職担当職員による個別の面談指導　など
■卒業者数：　28　人
■就職希望者数：　27　人
■就職者数：　27　人
■就職率　100　%
■卒業者に占める就職者の割合：　96.42857143　%
■その他
・進学者数：

（令和　　2 年度卒業者に関する
令和3年5月1日 時点の情報）

主な学修成果（資格・検定等）※3
■国家資格・検定/その他・民間検定等
（令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報）

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
JPCA パーソナルカラー検定 モジュール1	③	28	25
認定フェイシャルエステティシャン資格	③	28	21
AEAJ アロマテラピー検定1級	③	28	16
JNEC ネイリスト技能検定 3級	③	28	21

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他（民間検定等）

■自由記述欄
（例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

中途退学の現状
■中途退学者　3 名　■中退率　9 %
令和２年4月1日時点において、在学者33名（令和２年4月1日入学者を含む）
令和３年3月31日時点において、在学者30名（令和３年3月31日卒業者を含む）
■中途退学の主な理由
進路変更、病気
■中退防止・中退者支援のための取組
日頃からの気配りや声掛けなどの強化、早めの気付きによる個別面談等の対処

経済的支援制度
■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有・無
※有の場合、制度内容を記入
成績と面接で選考する特待生制度、スカラシップ制度

■専門実践教育訓練給付：　給付対象・非給付対象
※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載

第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:　　有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)
当該学科のホームページURL	http://www.omula.com/

(留意事項)
1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

当校が目指す「即戦力となる人材育成」を実現させるために、流行や変化の激しいファッション業界の動向に常に目を向け、授業科目についての進行過程や指導方法、授業をおこなう環境や使用する教材などの細かなところまで情報提供をおこなった上で、現在の業界において実際に必要な技術や知識を基として、企業や業界団体から改善点などの意見や要望をいただき、それを反映させた実践的なカリキュラム構築をおこないます。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学科ごとに教育課程編成委員会を設置（学則に記載）
① 本校教務課長から、次年度教育課程を教育課程編成委員会に提案
② 委員会で内容を検討
③ 意見や改善案を理事長に提出
④ 委員会からの意見・改善案を加味して、学校長が次年度の教育課程の内容を決定

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
佐藤　武昌	株式会社　ぼたんや	令和3年4月1日～令和5月31日（2年）	③
小林　治	日本ビューティーコーディネーター協会	令和3年4月1日～令和5月31日（2年）	①

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回　（4月、8月）

（開催日時（実績））
第1回　2020年4月19日（金）　午後14時～16時
第2回　2020年8月5日（月）　午後16時～17時
0

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
オーデザインズ実習(スタジオカウンセリング実習)について、お客様が満足する技術の提供に加えて、その各技術や商品をコーディネイトするビューティーコーディネーターを育成するために以下の項目を、カリキュラムに盛り込んでほしい
①ホスピタリティとビジネススキル
②ビューティーコーディネーターの仕事
③ビューティーコーディネーターの美容知識
→カウンセリング実習の中に取り入れ、実践的に鍛錬していることで、お客様の求めるものをトータルに提案できる力が学生に付いてきているのが実感できるので、今後も継続しておこなっていく

オーデザインズ実習(スタジオカウンセリング実習)について、ビジネススキル、特に敬語が使えていない。パーソナルな対応になると、形通りではダメで個性を活かして、笑顔の愛らしさや言葉遣いの丁寧さと崩し方、人懐っこさなどを表現としてできるようにケーススタディーと訓練で強化をしてほしい
→形をマスターした上で、自分自身をいかに表現するかを指導に取り入れている

オーデザインズ実習(スタジオカウンセリング実習)について、商品販売の目標は持たせるべきだが、売上の手前にカウンセリングの理解度・満足度が高くないと、仕事も面白くないし押し売りになるので、カウンセリングを充分に学ばせた後がよい
→まずカウンセリングの大事さと面白さを理解させることを念頭に指導をおこなっている

オーデザインズ実習(スタジオカウンセリング実習)について、カウンセリングで一方的に勧めてる、尋問調になっている、会場外での立ち振る舞いがおろそか、敬語の使い方がいいかげん、お見送りが完全にできていない、といったことが見受けられるので、特に気をつけて指導をお願いしたい
→台本の暗記をやめて如何なるケースでも対応できるようにする、会話の中から質問する項目を選択させる、などをおこない改善を図っている

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

コミュニケーション能力を持ち、顧客のニーズに合わせて柔軟に対応できる現場で即戦力となる社会人の早期育成をおこなうことを目的として、移り変わりの激しい業界の現在の状況を基にした指導や審査をおこなっていただき、自分に不足しているのは何なのか、実際に働く上で何が重要なのかを、学生自身に実体験として理解させることにより目標が明確になり、高い職業意識を持った人材の育成をおこないます。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習・演習を企業等と連携しておこなうにあたって、基本的に以下の流れにそっておこなっています。

①学校の方針や担当してもらう実習・演習の内容、成果目標等を企業等に伝えて、よく理解をしてもらった上で、契約書を締結

②実習・演習の実施前に、担当教員と企業等とで授業科目の全体のスケジュールや到達目標を説明し、講師がおこなう実習内容の詳細や到達目標と、その後の担当教員の指導方法などについて摺り合わせをおこなう

③企業等が授業をおこない、担当教員は授業運営のサポートをしながら、自身も授業を受けて技術向上などに努める

④授業が修了する際に、技術テストなどの設定していた評価項目により、企業等に学生の評価をしてもらい、それを基に担当教員が成績評価と科目修了の認定をする

⑤授業の一部のみを企業がおこなう科目の際は、企業等に学生の評価をしてもらうのと合わせて、最終的な学修成果の評価指標などについての助言をもらい、それを踏まえて担当教員が成績評価と科目修了の認定をする

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
作品作り	今期のトレンド傾向を分析します。モデルに合わせたテーマを設定し、イメージをコラージュと企画書で表現して、バランスを考えてオリジナル作品を制作します	Office KC
アロマテラピー	香料の種類を学び、フレグランスの種類と特徴や心身に働きかける芳香療法を学びます	日本アロマ環境協会
ネイル	手や足の爪の構造や働き、病気について学びます 相モデルでマニキュアの練習を繰り返し、あらゆるテクニックを習得します	株式会社Crazy Carts

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教育研修規程により、推薦学科における実践的職業教育の内容充実を目的として、その任にあたる教員の、ファッション業界における専門知識の向上及び教育者としての資質の向上を目的とする。特にファッション業界はトレンドの変化に敏感に対応するため情報収集力やアートや文化等幅広い分野への知識や技術、資質の向上を目的とする。

1. 教員の専門知識・技術の向上のためのプログラム
(ア)資格取得及び、その資格の認定講師の資格を取得するための研修
(イ)業界から講師を招聘し、業界の最新トレンドや技術を習得する研修
(ウ)企業が主催するコンテスト対策の授業
(エ)最先端のトレンド情報を収集しそれをデザインワークやスタイリングに活かすための研修

2. 教員の指導力向上のためのプログラム
(ア)組織のチームビルディングを形成するための研修
(イ)傾聴技法を学ぶ研修
(ウ)青年心理学や行動学、キャリア教育等学生のマインドを形成するための研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ビューティーコーディネーター研修」(連携企業等:日本ビューティーコーディネーター協会)
期間:令和2年11月8日(金)　　対象:ビューティーコーディネーター担当教員
内容:ビューティーコーディネーターについての教育を学生に反映させるため、最新の動向とビューティーコーディネーターが必要とする知識や技能、検定についてを学習し、コーディネーター学などの授業で指導に活かします

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「新任教員研修会」(連携企業等:職業教育・キャリア教育財団)
期間:令和2年8月6日(火)～8(木)　　対象:新任教員
内容:学生・教員のための実践心理、教育のあり方と授業実践、他

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ビューティーコーディネーター研修」(連携企業等:日本ビューティーコーディネーター協会)
期間:令和3年12月　　対象:ビューティーコーディネーター担当教員
内容:ビューティーコーディネーターについての教育を学生に反映させるため、最新の動向とビューティーコーディネーターが必要とする知識や技能、検定についてを学習し、コーディネーター学などの授業で指導に活かします

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「新任教員研修会」(連携企業等:職業教育・キャリア教育財団)

研修名：新任教員研修会（連携企業等：職業教育・キャリア教育財団）
期間：令和3年8月19日（水）～21（金）　　対象：新任教員
内容：学生・教員のための実践心理、教育のあり方と授業実践、他

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

在校生保護者・地域住民・関連企業・卒業生・業界団体の方々を学校関係者委員会のメンバーに選出し、事前に学校の理念や目的、目指す学生像を説明して充分にご理解いただき、目指すべき学校像を共通認識した上でご意見をいただき、学校運営の改善に活かしていきます。
そのために、委員会のメンバーには、自己評価の詳細はもちろんの事、評価をする上でその他の資料が必要とされれば提供をし、学校関係者への透明性を一番大事におこなっていきます。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) ② 学校における職業教育の特色は何か ③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ⑤ 各学科の教育目標、育成人材等は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか
(2)学校運営	① 目的等に沿った運営方針が策定されているか ② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ④ 人事、給与に関する規程等は整備されているか ⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ⑥ 業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか ⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3)教育活動	① 教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか ② 教育理念、育成人材等や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか ⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ⑥ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか ⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか ⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか
(4)学修成果	① 就職率の向上が図られているか ② 資格取得率の向上が図られているか ③ 退学率の低減が図られているか ④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

(5)学生支援	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか ② 学生相談に関する体制は整備されているか ③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか ⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか ⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか ⑦ 保護者と適切に連携しているか ⑧ 卒業生への支援体制はあるか ⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ⑩ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6)教育環境	① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか ② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ③ 防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	① 学生募集活動は、適正に行われているか ② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ③ 学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ③ 財務について会計監査が適正に行われているか ④ 財務情報公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ② 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか ③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ④ 自己評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

就職をしてもメンタル面が弱くて仕事に差し支えがでたり、退職をしたりするのが年々多くなっているのを感じる。
企業としても対策をしていくが、学校としてもメンタル強化に注目をしてやっていってもらいたい
⇒学校としても強く感じている部分なので、キャリア教育や人格教育の中でメンタル強化をおこなうとともに、教員には学生一人一人の様子を常に確認していきながら、早めの気付き・声掛け、早めの対処を徹底するように指示をした

「学校内はスマホ禁止」などよりも、いかに使いこなせるようにするかに注目した方が、就職してからも優位に立てることが多いので、その環境や教育も視野に入れた学校運営を考えていくのもいいのではないか
⇒次年度中に全ての教室でWifiを整備して、まずは校内環境を整えるようにした

モデルハントを積極的に行い勉強になっているが、自分からしたらスタイリストの動きに違和感がある。「スタイリスト対応」ではなく、「教員対応」になっている。(上からの物言い、自分がやってしまうなど)
学生にもっと(一般の)サロンモデルをやって欲しい。
⇒教員の意識が強くて自分達では気付きにくい意見だと思うので、時と場合によっては「学生が目指す職業の経験者」として　臨機応変に指導にあたるように、改めて教員に周知をした

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
甲木　輝彦	有限会社KATSUKI (ビューティビジョン協同組合)	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	企業
隈本　達也	有限会社ダム	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	卒業生、企業
佐藤　安彦	㈱ぼたんや	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	企業
津田　鶴太郎	津田産業㈱	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	企業

松原　弘伸	㈱アスリード	R2年4月1日～R4年3月31日（2年）	企業
吉田　二三男	黒門東部自治会	R2年4月1日～R4年3月31日（2年）	地域住民
金森　理奈		R1年7月1日～R4年3月31日（2年9ヶ月）	保護者
#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ）・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　）　）
URL:　http://www.omula.com
公表時期：令和3年10月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

当校の教育活動や学校運営の状況などの情報を提供することにより、学校と学校関係者との共通理解を深め、強い信頼関係の構築を目指す。
特に、以前には公開していなかった学校評価や財務状況などについてを公開することにより、今まで以上に学校のことを知ってもらい、更なる教育活動の活性化や課題の解決、学校運営の円滑化につなげ、実践的職業教育学校としての社会的向上に努める。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	・学校の目標及び計画、経営方針、特色・校長名、所在地、連絡先等・学
（2）各学科等の教育	・収容定員、在学学生数・カリキュラム・卒業の要件等（成績評価基準、
（3）教職員	・教職員数（職名別）・教職員の組織
（4）キャリア教育・実践的職業教育	・就職支援等への取組支援
（5）様々な教育活動・教育環境	・学校行事への取組状況・課外活動（ボランティア活動等）
（6）学生の生活支援	・学生支援への取組状況
（7）学生納付金・修学支援	・学生納付金の取り扱い（金額、納入時期等）・活用できる経済的支援措
（8）学校の財務	・収支報告書、財産目録
（9）学校評価	・自己評価・学校関係者評価の結果・評価結果を踏まえた改善方策
（10）国際連携の状況	
（11）その他	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法
（ホームページ　・　広報誌等の刊行物　・　その他（　　）　）
http://www.omula.com/

授業科目等の概要

	（メイクアップ専門課程メイクアップ科（ビューティーアドバイザーコース）） 分類								授業方法			場所		教員		
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
1	○			キャリアデザインⅠ	働くことの目的や、学生と社会人の違いを理解し、職業観や人生観について考えます。 就職活動に直結した履歴書の書き方や面接のポイントも学習します。	1通	45		○			○		○		
2	○			メイク実習Ⅰ	スキンケア、メイクアップの基礎知識から道具の使用方法、手順などメイクアップを美しく仕上げる為のケア方法と様々なメイクテクニックを学びます。 また、技術者としてのマナーや心構えを身につけます。	1通	450				○	○		○		
3	○			メイク理論Ⅰ	化粧の歴史から化粧品の取り扱いまで、メイクアップ知識全域を学習します。 骨格や顔の部位の名称、皮膚の３層の構造を理解し、悩みの原因や対処方法、お手入れの方法を含む美しい肌づくりの基礎をベースに学びます。	1通	30		○			○		○		
4	○			ネイルⅠ	ネイルケアの歴史を学びます。そして手や足の爪の構造や働き、病気についても学びます。 相モデルでマニキュアの練習を繰り返し、あらゆるテクニックを習得します。JNECネイリスト技能検定３級の基本的な技術を学び、検定受験対策授業を行います。	1通	60				○	○			○	
5	○			ヘアアレンジ	ヘアアイロンの使用方法を学び、様々なアップスタイルを軸に、ヘアアレンジの基本を学習します。 設定した時間の中でヘアアレンジを変化させる理論とテクニックをトレーニングします。	1通	30				○	○			○	
6	○			ファッション	ファッション史と、トレンドに分けて学習します。各時代の特徴を理解しファッションのテイストを説明できるようになります。また、ジャンルを知る事で、ファストファッションとコレクションの違いを学習し、トータルバランス力を高め、図案化するポイントを学びます。	1通	15		○			○			○	
7	○			パーソナルカラーⅠ	色彩学の基本を基に色の成り立ちを学習します。各人の持つ肌・髪の毛・虹彩からブルーベースやイエローベースの基本を学習し、似合う色を４つの分類で見分けます。 パーソナルカラー検定モジュール１の合格を目指します。	1通	30		○			○			○	

8	○			アロマテラピーⅠ	多くの香料の種類を学び、フレグランスの種類と特徴や心身に働きかける芳香療法を学びます。 香りが持つイメージを言葉で表現できるようになり、香りの使用方法の知識が深まります。 またアロマテラピーも合わせて学び、アロマ検定１級に向けて対策授業も行います。	1通	30		○			○			○	○
9	○			作品作り	今期のトレンドの検証を行い、分析します。モデルに似合わせたテーマを設定しイメージをコラージュと企画書で表現します。 メイク・ヘアスタイル・ファッションのバランスを考え、オリジナルの作品を制作し魅力的なプレゼンテーションを学びます。	1・2通	60				○	○		○		○
10	○			選択授業	興味や関心のある内容の授業を自主的に選択をします。	1・2通	120				○	○		○		
11	○			キャリアデザインⅡ	学生と社会人の違いを理解して、就職する目的を学習します。 社会、仕事、職業を学ぶことでキャリアプランを明確にし、自己理解を深めます。 更にサロン見学と面接試験に備えた社会人マナーや基本的ルールを学習します。	2通	45		○			○		○		
12	○			インターンシップ	各コースの就職先に準じた店舗にて一連の業務を知り、社会生活に必要なスキルを理解することができます。報告・連絡・相談といったビジネススキルを高める為に毎実習後には振返り、改善法をレポートにまとめ、現場からのフィードバックで更にスキルアップをはかります。	2通	30				○		○	○		
13	○			実習型研修	化粧品企業の本社や研修・教育に使用される施設を訪問・見学し、企業の特徴を学びます。 また、それにより求められる人材が違うことを学びます。業界全体の動向を知ることで入社後のキャリアプランに繋げる事ができます。 事前プランニングを行い、交通機関・百貨店見学のスケジューリングを学習します。	1通	15		○			○		○		
14	○			0.designs実習	オーデザインズにて実習を行いビューティーアドバイザーとしてのお迎え、カウンセリング、スキンケアアドバイス、ご希望メイクの聞き出し、メイクの提案からメイク実技、販売、クロージングお見送りまでの一連の流れを学習します。一を確保するための話法を学習します。	2通	60				○		○	○		
15	○			スカルプチャーメイク	「骨格」はメイクの基本です。骨格に合わせるというメイク技術を学びます。 ブランドを代表するアーティストの授業を受講します。 骨格を活かし、修正を加えながらテーマ課題をメイクアップで表現し、作品を完成します。	2通	60				○	○		○		

16	○			メイク実習Ⅱ	骨格の理解、陰影について深く学び、立体を表現する技術を学びます。 また、チャームアップメイクやコンプレックスを解消するメイクテクニックから「似合わせ」を理解できるようになります。また、様々なシーンにあったテクニックを学習することで技術の幅を広げます。	2通	300				○	○		○		
17	○			メイク理論Ⅱ	皮膚のしくみと肌の悩みに応じてアドバイスができるように、新しい製品や配合成分の働きを学びます。ロールプレイングを中心として、言葉で伝え学びを深めます。	2通	30		○			○		○		
18	○			卒業制作	テーマに合わせて、ヘア・メイク・ファッションのトータルバランスを考えた作品を制作します。 モデル選びから、作品制作、ショー構成や音楽編集まで、全ての作業をクラス一丸となって創り上げます。２年間の技術の集大成を発表するファイナルコンテストに出場します。	2通	60				○	○		○		
19	○			エステ実習	フェイシャルエステティックの目的、効果、筋肉や骨格の名称などの理論を学び、相モデルで検定の流れに沿って、スタンスや腕全体の動かし方を習得します。 マッサージにおける基本手技を習得し、応用として、悩み別のマッサージに対応します。	2通	60				○	○			○	
20	○			エステ理論	エステティックの概念、領域、歴史から学びます。また、カウンセリングの基本的な考え方やエステティシャンの姿勢を理解し、衛生管理など求められる資質についても学習します。	2通	15		○			○			○	
21	○			解剖生理・栄養学	身体は細胞の集合体であり、複雑な構造をしていることを学び、さらに器官ごとに細かくそれぞれのしくみと働きを学びます。 同時に栄養素の種類や栄養の知識を学ぶことで認定フェイシャルエステティシャンの資格を取得します。	2通	15		○			○			○	
22	○			接客学	ビジネススーツを着て授業を実施することで、立ち姿勢や歩き方を身につけます。 社会人としての正しい敬語や手紙の書き方を学習し、社内コミュニケーションについて学びます。 化粧品と肌の関係を深く学び、個々の対応についての違いや、顧客心理の変化を学習します。	1・2通	75		○			○		○		
23	○			カウンセリング	表情と動作、コミュニケーション力、言葉遣いや身だしなみの基本的な対人スキルを学習します。 肌悩みのヒアリングやパーソナルなアドバイス、購買に至るまで実践力を身に付けます。 皮膚の知識から日常生活までの幅広いカウンセリングができるようになります。	2通	60		○			○		○		
24	○			パーソナルカラーⅡ	基本的な４シーズンのカラー分類・見分けと共に、実際の接客で役に立つカラー提案を学びます。 また、表現方法や提案力が身に付くようプレゼンテーションまで行います。	2通	30		○			○			○	

25	○			アロマテラピーⅡ	アロマテラピーの生理的作用を学習し、利用法を理解します。 幅広く学ぶことで健康的な身体つくりを実践できるよう、アロマテラピーを生活の中に取りいれる方法論を知ることができます。また手作り化粧品の基本的な作り方を学びより日常的にアロマテラピーを実践します。	2通	30				○	○			○	○
26	○			ブランド研究	化粧品業界全体やブランド別に考え方を研究します。また、化粧品の特徴を深く知るために、百貨店に於いて接客体験や化粧品を手にとり、感じたことのレポートを作成します。あらゆるブランドの同じアイテムを比較しプレゼンテーションを行うことで、就職後の接客に必要な他社比較について考えます。	2通	45		○			○		○		
合計					26科目	1800単位時間(　　単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必要な時間数を履修している 教科科目の３分の２以上出席	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	20週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式4）
【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和3年10月1日※1
（前回公表年月日：令和2年10月1日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
大村美容ファッション専門学校	平成4年3月31日	斉藤　ちづる	〒810-0055 福岡県福岡市中央区黒門2－6 （電話）092-733-1766
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人大村文化学園	平成4年3月31日	理事長 大村　陽之介	〒810-0055 福岡県福岡市中央区黒門2－6 （電話）092-733-1766

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
衛生	メイクアップ専門課程	メイクアップ科（メイクアップアーティストコース）	平成28年文部科学省認定	―

学科の目的	モデルを美しくするメイクアップから、ショーメイク、ビューティー最前線で活躍する為に必要なヘアアレンジ、色彩などを幅広く学び、メイク業界の次世代を担う人材を育成する
認定年月日	平成29年2月28日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	1800	270	0	0	0	1530
							時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
100人の内数	85人	0人	5人の内数	6人の内数	11人の内数

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 各学期末におこなう試験、実習の成果、履修状況などを総合的に勘案
長期休み	■学年始：4月1日 ■夏　季：8月1日～8月31日 ■冬　季：12月20日～1月11日 ■春　季：3月13日～4月11日	卒業・進級条件	必要な時間数を履修している 教科課目の3分の2以上出席 学期末試験において、すべての科目が60点以上
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 本人・保護者と面談等をおこなって対処	課外活動	■課外活動の種類 町内行事への参加、学生自治組織、清掃ボランティア ■サークル活動：　無
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和元年度卒業生） アルビオン、イプサ、資生堂 ■就職指導内容 就職ホームルームによる担任からの指導 就職担当職員による個別の面談指導　など ■卒業者数：13 人 ■就職希望者数：13 人 ■就職者数：13 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合：100 % ■その他 ・進学者数： （令和　2 年度卒業者に関する 令和3年5月1日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報）

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
JPCA パーソナルカラー検定 モジュール1	③	13	13
JBCA ビューティコーディネーター検定3級	③	13	13
AEAJ アロマテラピー検定1級	③	13	8
JNEC ネイリスト技能検定 3級	③	13	13
JNA ジェルネイル検定初級	③	8	4

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他（民間検定等）

■自由記述欄
（例）認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等

中途退学の現状	■中途退学者　4 名　■中退率　8 % 令和２年4月1日時点において、在学者52名（令和２年4月1日入学者を含む） 令和３年3月31日時点において、在学者48名（令和３年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 進路変更、病気 ■中退防止・中退者支援のための取組 日頃からの気配りや声掛けなどの強化、早めの気付きによる個別面談等の対処
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有・無 ※有の場合、制度内容を記入 成績と面接で選考する特待生制度、スカラシップ制度 ■専門実践教育訓練給付：　給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載

第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:　有(無) ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)
当該学科のホームページURL	http://www.omula.com/

(留意事項)
1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

当校が目指す「即戦力となる人材育成」を実現させるために、流行や変化の激しいファッション業界の動向に常に目を向け、授業科目についての進行過程や指導方法、授業をおこなう環境や使用する教材などの細かなところまで情報提供をおこなった上で、現在の業界において実際に必要な技術や知識を基として、企業や業界団体から改善点などの意見や要望をいただき、それを反映させた実践的なカリキュラム構築をおこないます。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学科ごとに教育課程編成委員会を設置（学則に記載）
① 本校教務課長から、次年度教育課程を教育課程編成委員会に提案
② 委員会で内容を検討
③ 意見や改善案を理事長に提出
④ 委員会からの意見・改善案を加味して、学校長が次年度の教育課程の内容を決定

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
佐藤　武昌	株式会社　ぼたんや	令和3年4月1日～令和5月31日（2年）	③
小林　治	日本ビューティーコーディネーター協会	令和3年4月1日～令和5月31日（2年）	①

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回　（4月、8月）

（開催日時（実績））
第1回　2020年4月19日（金）　午後14時～16時
第2回　2020年8月5日（月）　午後16時～17時
0

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
オーデザインズ実習(スタジオカウンセリング実習)について、お客様が満足する技術の提供に加えて、その各技術や商品をコーディネイトするビューティーコーディネーターを育成するために以下の項目を、カリキュラムに盛り込んでほしい
①ホスピタリティとビジネススキル
②ビューティーコーディネーターの仕事
③ビューティーコーディネーターの美容知識
→カウンセリング実習の中に取り入れ、実践的に鍛錬していることで、お客様の求めるものをトータルに提案できる力が学生に付いてきているのが実感できるので、今後も継続しておこなっていく

オーデザインズ実習(スタジオカウンセリング実習)について、ビジネススキル、特に敬語が使えていない。パーソナルな対応になると、形通りではダメで個性を活かして、笑顔の愛らしさや言葉遣いの丁寧さと崩し方、人懐っこさなどを表現としてできるようにケーススタディーと訓練で強化をしてほしい
→形をマスターした上で、自分自身をいかに表現するかを指導に取り入れている

オーデザインズ実習(スタジオカウンセリング実習)について、商品販売の目標は持たせるべきだが、売上の手前にカウンセリングの理解度・満足度が高くないと、仕事も面白くないし押し売りになるので、カウンセリングを充分に学ばせた後がよい
→まずカウンセリングの大事さと面白さを理解させることを念頭に指導をおこなっている

オーデザインズ実習(スタジオカウンセリング実習)について、カウンセリングで一方的に勧めてる、尋問調になっている、会場外での立ち振る舞いがおろそか、敬語の使い方がいいかげん、お見送りが完全にできていない、といったことが見受けられるので、特に気をつけて指導をお願いしたい
→台本の暗記をやめて如何なるケースでも対応できるようにする、会話の中から質問する項目を選択させる、などをおこない改善を図っている

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

コミュニケーション能力を持ち、顧客のニーズに合わせて柔軟に対応できる現場で即戦力となる社会人の早期育成をおこなうことを目的として、移り変わりの激しい業界の現在の状況を基にした指導や審査をおこなっていただき、自分に不足しているのは何なのか、実際に働く上で何が重要なのかを、学生自身に実体験として理解させることにより目標が明確になり、高い職業意識を持った人材の育成をおこないます。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習・演習を企業等と連携しておこなうにあたって、基本的に以下の流れにそっておこなっています。

①学校の方針や担当してもらう実習・演習の内容、成果目標等を企業等に伝えて、よく理解をしてもらった上で、契約書を締結

②実習・演習の実施前に、担当教員と企業等とで授業科目の全体のスケジュールや到達目標を説明し、講師がおこなう実習内容の詳細や到達目標と、その後の担当教員の指導方法などについて摺り合わせをおこなう

③企業等が授業をおこない、担当教員は授業運営のサポートをしながら、自身も授業を受けて技術向上などに努める

④授業が修了する際に、技術テストなどの設定していた評価項目により、企業等に学生の評価をしてもらい、それを基に担当教員が成績評価と科目修了の認定をする

⑤授業の一部のみを企業がおこなう科目の際は、企業等に学生の評価をしてもらうのと合わせて、最終的な学修成果の評価指標などについての助言をもらい、それを踏まえて担当教員が成績評価と科目修了の認定をする

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
作品作り	今期のトレンド傾向を分析します。モデルに合わせたテーマを設定し、イメージをコラージュと企画書で表現して、バランスを考えてオリジナル作品を制作します	Office KC
アロマテラピー	香料の種類を学び、フレグランスの種類と特徴や心身に働きかける芳香療法を学びます	日本アロマ環境協会
ネイル	手や足の爪の構造や働き、病気について学びます 相モデルでマニキュアの練習を繰り返し、あらゆるテクニックを習得します	株式会社Crazy Carts

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教育研修規程により、推薦学科における実践的職業教育の内容充実を目的として、その任にあたる教員の、ファッション業界における専門知識の向上及び教育者としての資質の向上を目的とする。特にファッション業界はトレンドの変化に敏感に対応するため情報収集力やアートや文化等幅広い分野への知識や技術、資質の向上を目的とする。

1. 教員の専門知識・技術の向上のためのプログラム
(ア)資格取得及び、その資格の認定講師の資格を取得するための研修
(イ)業界から講師を招聘し、業界の最新トレンドや技術を習得する研修
(ウ)企業が主催するコンテスト対策の授業
(エ)最先端のトレンド情報を収集しそれをデザインワークやスタイリングに活かすための研修

2. 教員の指導力向上のためのプログラム
(ア)組織のチームビルディングを形成するための研修
(イ)傾聴技法を学ぶ研修
(ウ)青年心理学や行動学、キャリア教育等学生のマインドを形成するための研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ビューティーコーディネーター研修」(連携企業等:日本ビューティーコーディネーター協会)
期間:令和2年11月8日(金)　　対象:ビューティーコーディネーター担当教員
内容:ビューティーコーディネーターについての教育を学生に反映させるため、最新の動向とビューティーコーディネーターが必要とする知識や技能、検定についてを学習し、コーディネーター学などの授業で指導に活かします

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「新任教員研修会」(連携企業等:職業教育・キャリア教育財団)
期間:令和2年8月6日(火)～8(木)　　対象:新任教員
内容:学生・教員のための実践心理、教育のあり方と授業実践、他

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ビューティーコーディネーター研修」(連携企業等:日本ビューティーコーディネーター協会)
期間:令和3年12月　　対象:ビューティーコーディネーター担当教員
内容:ビューティーコーディネーターについての教育を学生に反映させるため、最新の動向とビューティーコーディネーターが必要とする知識や技能、検定についてを学習し、コーディネーター学などの授業で指導に活かします

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「新任教員研修会」(連携企業等:職業教育・キャリア教育財団)

研修名「新任教員研修会」(連携推進委員:職業教育・キャリア教育財団)
期間:令和3年8月19日(水)～21(金)　　対象:新任教員
内容:学生・教員のための実践心理、教育のあり方と授業実践、他

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

在校生保護者・地域住民・関連企業・卒業生・業界団体の方々を学校関係者委員会のメンバーに選出し、事前に学校の理念や目的、目指す学生像を説明して充分にご理解いただき、目指すべき学校像を共通認識した上でご意見をいただき、学校運営の改善に活かしていきます。
そのために、委員会のメンバーには、自己評価の詳細はもちろんの事、評価をする上でその他の資料が必要とされれば提供をし、学校関係者への透明性を一番大事におこなっていきます。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) ② 学校における職業教育の特色は何か ③ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ④ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ⑤ 各学科の教育目標、育成人材等は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか
(2)学校運営	① 目的等に沿った運営方針が策定されているか ② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか ③ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ④ 人事、給与に関する規程等は整備されているか ⑤ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ⑥ 業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか ⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか ⑧ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか
(3)教育活動	① 教育理念に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか ② 教育理念、育成人材等や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ③ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか ⑤ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ⑥ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか ⑦ 授業評価の実施・評価体制はあるか ⑧ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ⑪ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ⑫ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか ⑬ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか ⑭ 職員の能力開発のための研修等が行われているか

(4)学修成果	① 就職率の向上が図られているか ② 資格取得率の向上が図られているか ③ 退学率の低減が図られているか ④ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
(5)学生支援	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか ② 学生相談に関する体制は整備されているか ③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ④ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか ⑤ 課外活動に対する支援体制は整備されているか ⑥ 学生の生活環境への支援は行われているか ⑦ 保護者と適切に連携しているか ⑧ 卒業生への支援体制はあるか ⑨ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ⑩ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
(6)教育環境	① 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか ② 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ③ 防災に対する体制は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	① 学生募集活動は、適正に行われているか ② 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ③ 学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ③ 財務について会計監査が適正に行われているか ④ 財務情報公開の体制整備はできているか
(9)法令等の遵守	① 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ② 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか ③ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ④ 自己評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	① 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ② 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ③ 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

就職をしてもメンタル面が弱くて仕事に差し支えがでたり、退職をしたりするのが年々多くなっているのを感じる。
企業としても対策をしていくが、学校としてもメンタル強化に注目をしてやっていってもらいたい
⇒学校としても強く感じている部分なので、キャリア教育や人格教育の中でメンタル強化をおこなうとともに、教員には学生一人一人の様子を常に確認していきながら、早めの気付き・声掛け、早めの対処を徹底するように指示をした

「学校内はスマホ禁止」などよりも、いかに使いこなせるようにするかに注目した方が、就職してからも優位に立てることが多いので、その環境や教育も視野に入れた学校運営を考えていくのもいいのではないか
⇒次年度中に全ての教室でWifiを整備して、まずは校内環境を整えるようにした

モデルハントを積極的に行い勉強になっているが、自分からしたらスタイリストの動きに違和感がある。「スタイリスト対応」ではなく、「教員対応」になっている。(上からの物言い、自分がやってしまうなど)
学生にもっと(一般の)サロンモデルをやって欲しい。
⇒教員の意識が強くて自分達では気付きにくい意見だと思うので、時と場合によっては「学生が目指す職業の経験者」として　臨機応変に指導にあたるように、改めて教員に周知をした

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年10月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
甲木　輝彦	有限会社KATSUKI (ビューティビジョン協同組合)	R2年4月1日～R4年3月31日 (2年)	企業

隈本　達也	有限会社ダム	R2年4月1日～R4年3月31日（2年）	卒業生、企業
佐藤　安彦	㈱ぼたんや	R2年4月1日～R4年3月31日（2年）	企業
津田　鶴太郎	津田産業㈱	R2年4月1日～R4年3月31日（2年）	企業
松原　弘伸	㈱アスリード	R2年4月1日～R4年3月31日（2年）	企業
吉田　二三男	黒門東部自治会	R2年4月1日～R4年3月31日（2年）	地域住民
金森　理奈		R1年7月1日～R4年3月31日（2年9ヶ月）	保護者
#REF!	#REF!	#REF!	#REF!

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ）・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　）　）
URL: http://www.omula.com
公表時期：令和3年10月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
当校の教育活動や学校運営の状況などの情報を提供することにより、学校と学校関係者との共通理解を深め、強い信頼関係の構築を目指す。
特に、以前には公開していなかった学校評価や財務状況などについてを公開することにより、今まで以上に学校のことを

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	・学校の目標及び計画、経営方針、特色・校長名、所在地、連絡先等・学
（2）各学科等の教育	・収容定員、在学学生数・カリキュラム・卒業の要件等（成績評価基準、
（3）教職員	・教職員数（職名別）・教職員の組織
（4）キャリア教育・実践的職業教育	・就職支援等への取組支援
（5）様々な教育活動・教育環境	・学校行事への取組状況・課外活動（ボランティア活動等）
（6）学生の生活支援	・学生支援への取組状況
（7）学生納付金・修学支援	・学生納付金の取り扱い（金額、納入時期等）・活用できる経済的支援措
（8）学校の財務	・収支報告書、財産目録
（9）学校評価	・自己評価・学校関係者評価の結果・評価結果を踏まえた改善方策
（10）国際連携の状況	
（11）その他	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法
（ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　）　）
http://www.omula.com/

授業科目等の概要

	（メイクアップ専門課程メイクアップ科（メイクアップアーティストコース）） 分類								授業方法			場所		教員		
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
1	○			キャリアデザインⅠ	働くことの目的や、学生と社会人の違いを理解し、職業観や人生観について考えます。 就職活動に直結した履歴書の書き方や面接のポイントも学習します。	1通	45		○			○		○		
2	○			メイク実習Ⅰ	スキンケア、メイクアップの基礎知識から道具の使用方法、手順などメイクアップを美しく仕上げる為のケア方法と様々なメイクテクニックを学びます。 また、技術者としてのマナーや心構えを身につけます。	1通	450				○	○		○		
3	○			メイク理論Ⅰ	化粧の歴史から化粧品の取り扱いまで、メイクアップ知識全域を学習します。 骨格や顔の部位の名称、皮膚の３層の構造を理解し、悩みの原因や対処方法、お手入れの方法を含む美しい肌づくりの基礎をベースに学びます。	1通	30		○			○		○		
4	○			ネイルⅠ	ネイルケアの歴史を学びます。そして手や足の爪の構造や働き、病気についても学びます。 相モデルでマニキュアの練習を繰り返し、あらゆるテクニックを習得します。JNECネイリスト技能検定３級の基本的な技術を学び、検定受験対策授業を行います。	1通	60				○	○			○	○
5	○			ヘアアレンジ	ヘアアイロンの使用方法を学び、様々なアップスタイルを軸に、ヘアアレンジの基本を学習します。 設定した時間の中でヘアアレンジを変化させる理論とテクニックをトレーニングします。	1通	30				○	○			○	
6	○			ファッション	ファッション史と、トレンドに分けて学習します。各時代の特徴を理解しファッションのテイストを説明できるようになります。また、ジャンルを知る事で、ファストファッションとコレクションの違いを学習し、トータルバランス力を高め、図案化するポイントを学びます。	1通	15		○			○			○	
7	○			パーソナルカラーⅠ	色彩学の基本を基に色の成り立ちを学習します。各人の持つ肌・髪の毛・虹彩からブルーベースやイエローベースの基本を学習し、似合う色を４つの分類で見分けます。 パーソナルカラー検定モジュール１の合格を目指します。	1通	30		○			○			○	

8	○			アロマテラピーⅠ	多くの香料の種類を学び、フレグランスの種類と特徴や心身に働きかける芳香療法を学びます。 香りが持つイメージを言葉で表現できるようになり、香りの使用方法の知識が深まります。 またアロマテラピーも合わせて学び、アロマ検定１級に向けて対策授業も行います。	1通	30		○			○			○	○
9	○			コーディネーター学	ビューティコーディネーター検定３級取得を目指し、社会人としてのビジネスマナーを理解します。 生産性を高めるレセプションワークやビジネススキル、会話力や基本的マナーと共にヘア知識を学習します。また、パーソナルカラー授業、メイクアップ授業、ファッション授業と関連しより具体的な提案力を身につけます。	1通	30		○			○		○		
10	○			作品作り	今期のトレンドの検証を行い、分析します。モデルに似合わせたテーマを設定しイメージをコラージュと企画書で表現します。 メイク・ヘアスタイル・ファッションのバランスを考え、オリジナルの作品を制作し魅力的なプレゼンテーションを学びます。	1・2通	60				○	○		○		○
11	○			選択授業	興味や関心のある内容の授業を自主的に選択をします。	1・2通	120				○	○		○		
12	○			キャリアデザインⅡ	学生と社会人の違いを理解して、就職する目的を学習します。 社会、仕事、職業を学ぶことでキャリアプランを明確にし、自己理解を深めます。 更にサロン見学と面接試験に備えた社会人マナーや基本的ルールを学習します。	2通	45		○			○		○		
13	○			インターンシップ	各コースの就職先に準じた店舗にて一連の業務を知り、社会生活に必要なスキルを理解することができます。報告・連絡・相談といったビジネススキルを高める為に毎実習後には振返り、改善法をレポートにまとめ、現場からのフィードバックで更にスキルアップをはかります。	1通	30				○		○	○		
14	○			実習型研修	化粧品企業の本社や研修・教育に使用される施設を訪問・見学し、企業の特徴を学びます。 また、それにより求められる人材が違うことを学びます。業界全体の動向を知ることで入社後のキャリアプランに繋げる事ができます。 事前プランニングを行い、交通機関・百貨店見学のスケジューリングを学習します。	2通	15		○			○		○		
15	○			O.designs実習	オーデザインズにて実習を行いビューティーアドバイザーとしてのお迎え、カウンセリング、スキンケアアドバイス、ご希望メイクの聞き出し、メイクの提案からメイク実技、販売、クロージングお見送りまでの一連の流れを学習します。一を確保するための話法を学習します。	2通	60				○		○	○		

16	○			スカルプチャーメイク	「骨格」はメイクの基本です。骨格に合わせるというメイク技術を学びます。 ブランドを代表するアーティストの授業を受講します。 骨格を活かし、修正を加えながらテーマ課題をメイクアップで表現し、作品を完成します。	2通	60				○	○		○		
17	○			実習型研修	化粧品企業の本社や研修・教育に使用される施設を訪問・見学し、企業の特徴を学びます。 また、それにより求められる人材が違うことを学びます。業界全体の動向を知ることで入社後のキャリアプランに繋げる事ができます。 事前プランニングを行い、交通機関・百貨店見学のスケジューリングを学習します。	2通	15		○			○		○		
18	○			O.designs実習	オーデザインズにて実習を行いビューティーアドバイザーとしてのお迎え、カウンセリング、スキンケアアドバイス、ご希望メイクの聞き出し、メイクの提案からメイク実技、販売、クロージングお見送りまでの一連の流れを学習します。一を確保するための話法を学習します。	2通	60				○		○	○		
19	○			スカルプチャーメイク	「骨格」はメイクの基本です。骨格に合わせるというメイク技術を学びます。 ブランドを代表するアーティストの授業を受講します。 骨格を活かし、修正を加えながらテーマ課題をメイクアップで表現し、作品を完成します。	2通	60				○	○		○		
20	○			メイク実習Ⅱ	骨格の理解、陰影について深く学び、立体を表現する技術を学びます。 また、チャームアップメイクやコンプレックスを解消するメイクテクニックから「似合わせ」を理解できるようになります。また、様々なシーンにあったテクニックを学習することで技術の幅を広げます。	2通	300				○	○		○		
21	○			メイク理論Ⅱ	皮膚のしくみと肌の悩みに応じてアドバイスができるように、新しい製品や配合成分の働きを学びます。ロールプレイングを中心として、言葉で伝え学びを深めます。	2通	30		○			○		○		
22	○			卒業制作	テーマに合わせて、ヘア・メイク・ファッションのトータルバランスを考えた作品を制作します。 モデル選びから、作品制作、ショー構成や音楽編集まで、全ての作業をクラス一丸となって創り上げます。２年間の技術の集大成を発表するファイナルコンテストに出場します。	2通	60				○	○		○		
23	○			撮影メイク	照明の基本を学習し、シューティングの基本からテーマに合わせて作品を作ります。 企画書作成やコラージュ作成を通して、表現方法を深めます。作品を創る上で大切な色の出し方や色合いをレンズを通じて学習し、作品を形にしていく過程を実践します。	2通	60				○	○		○		
合計					23科目	1800単位時間(　　単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必要な時間数を履修している 教科科目の３分の２以上出席	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	20週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。